

科目番号		54032	分類	専門科目 公衆衛生看護学	履修者	高度実践公衆衛生看護コース		学年
科目名	疾病予防・自立支援教育特論Ⅱ (Advanced Course in Disease Prevention and Health Education Ⅱ)							2
								配当セクター
								通年
担当者	〇明石 眞言			区分	必修	単位	3	時間数 45
授業の概要および目標							学位授与の方針との関連	
【概要・目標】 M1 で習得した内容をさらに発展させ、自分の修士論文のテーマにより合った英語原著論文を読み、内容を第三者が理解できるように自分の言葉でプレゼンテーションを行う。これからの看護学は、世界に目を広げ、国外の公衆衛生看護学やその関連領域に関する論文を通して、公衆衛生看護の現場で用いることができる最新の知見を身に着けることが求められる。 一方他の方の原著論文のプレゼンテーションを聞くことで、知識を広めるとともに、自分のプレゼンテーションの参考にする。 辞書を引きながら自ら読みとることを徹底原則とする。原著論文は、最新もしくは過去1－2年以内のものを原則とし、英語とする。 【目標】 1. インターネット上のリソース特に国立生物工学情報センター（NCBI）が運営するPubMed 等を活用しながら、医療・看護分野の英文論文を読む力を養う。 2. 学術論文を読むための批判的・論理的思考力を養う。 3. 専門分野に関する情報収集能力を高める。							○	1.多様な課題に対応する高度な実践力
							○	2.地域住民の自立を支える統合的支援能力
							○	3.地域の健康課題を科学的にアセスメント・分析する能力
								4.政策や保健事業を開発する能力
								5.災害対応や新興・再興感染症への危機管理能力
								6.公衆衛生看護・公衆衛生行政に繋がる研究能力
授 業 計 画								
回	内 容							担当教員
第1回	・科学（学術）論文とは ・論文の構成 ・論文の質 ・文献検索の方法、プレゼンテーション方法							明石
第2回	英語能力の自己判定							
第3回 ～ 第23回	・より修士論文のテーマに合った英語論文の輪読（交代制）							
事前・事後学習	事前学習：論文をよく読んでおくこと。プレゼンテーションは、事前に担当教員に送付すること。 事後学習：輪読資料を再読すること。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考にすること。							
評価の方法	各回のプレゼンテーション方法および質疑応答によるディスカッションへの参加で評価する。							
参考図書・資料等	なし							
備考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。							